

高品質牛肉生産に向けて肥育牛の血中ビタミンA濃度を測定

肥育牛の血中ビタミンA濃度は、枝肉成績と密接な関係があり、脂肪交雑の高い(霜降り)高品質牛肉を生産するためには、肥育期間(10～30か月齢)のうち肥育中期の前半から(15～18か月齢)ビタミンA給与を制限し、脂肪細胞の分化を促進する技術が重要とされています。

当センターでは、家畜保健衛生所とともに、府内の肥育牛についてビタミンAなどの血液成分を調査し、高級な牛肉を安定的に生産するための肥育技術の確立をめざしています。



牛を保定して、尾静脈から採血